

グローバル通信3月号

外務省地方連携推進室

外務省地方連携推進室
運営ホームページはこちら

グローバル外交ネット
外務省と地方が連携する

スポーツがつなぐ交流、そしてその先へ(徳島県とジョージア)



ジョージア・パラリンピック委員会訪問



徳島商業高校とトビリシ自由大学のオンライン・ワークショップ

徳 島県は2019年のラグビー・ワールドカップ開催時にジョージア選手団の事前合宿を受け入れた際の選手と地元住民との交流がきっかけとなり、東京2020大会における同国のホストタウンに登録されました。徳島県は共生社会ホストタウンとして、徳島商業高校とジョージア女子車いすフェンシング選手との交流をはじめ、パラリンピック選手との交流を促進し、大会終了後も「共生社会」をテーマに取り組んでいるジョージア国内自治体との交流を模索しています。この他、同校及び四国大学とジョージア・トビリシ自由大学で日本語を学ぶ学生との交流といった「若者」の交流や、「ラグビー」をテーマにした交流など、日ジョージア外交関係樹立30周年にあたる2022年、ホストタウン交流の更なる活性化が期待されます。

[詳細](#)

「都道府県アンテナショップ@サンフランシスコ」の実現 (在サンフランシスコ日本国総領事館)



Japantenna外観



サンフランシスコ市長・総領事等によるリボンカッティング

サ ンフランシスコには、日本町があり、日本の文化を日系コミュニティにとどまらず、米国の多様な社会に伝える場として重要な役割を果たしています。日本町の中心には、ジャパンセンターというモールがありますが、新型コロナの影響により、来客数が激減しました。徐々に来客数は戻り始めていますが、日本町の各店舗が受けた経済的なダメージは大きく、モール内に増えていた空き店舗がもたらす負の影響も懸念されていました。そこで、危機的な状態だった日本町に賑わいを取り戻そうと、「Japantenna」という企画が動き出しました。魅力的な観光資源や食品、特産品等を発信するアンテナショップを異国の地であるサンフランシスコでも設けようという企画です。第一回「Japantenna」では鹿児島県にスポットライトを当て、ジャパンセンター内の空き店舗スペースを活用し、鹿児島県から直送された焼酎や日本茶、工芸品等の特産品や観光資源等を紹介する物産展の開催が実現しました。結果的に、約6000人が来店し、当地における鹿児島県の認知度向上や魅力の発信に大きく貢献しました。

[詳細](#)

★地方連携推進室から

・外交実務研修員からの寄稿(伊東外交実務研修員)

[詳細](#)

福島県主催駐日外交団視察ツアーを通じて聞こえてきた声(福島県)



福島県農業総合センターでの記念写真



東日本大震災・原子力災害伝承館の視察

福 島県は、復興に向けて挑戦を続ける「ふくしまの今」を実感してほしいとの思いから、令和4年1月に駐日外交団を福島県へ招待し、東日本大震災からの10年を振り返るとともに、復興が着実に進んでいる「ふくしま」の姿を実感し、理解を深めてもらうことを目的とした視察ツアーを実施しました。外務省からも上杉政務官が農業総合センターを訪問し、輸入規制の撤廃や風評被害の払拭に向けて引き続きの理解と協力を求めました。本ツアーを通じて参加者からは、「福島が経験した震災の教訓や復興が進んでいる現状を本国にも発信したい。」「福島県のほとんどの地域での生活がほぼ正常に戻っていることがわかってよかった。それは県民の活力と回復力を示している。」といった声が聞こえてきました。

[詳細](#)

※記事は [詳細](#) をクリックするとご覧いただけます。

※次回配信は4月1日の予定です。グローバル通信に是非ご登録下さい。登録は [こちら](#) をクリック! ご意見やご質問は、gaimu-renkei@mofa.go.jp までお願いいたします。

北海道とカナダ・アルバータ州及び中国・黒竜江省との交流
～姉妹友好提携が生んだカーリング交流を中心に～(北海道)



ミニ樽とほうきでの練習風景(1980年、常呂町)



道議会・アルバータ議会オンライン調印式

2022年北京オリンピック競技大会が開催され、カーリング女子日本代表が史上初の銀メダルを獲得するなど、カーリング競技が盛り上がりを見せました。こうしたオリンピックや世界選手権といった世界の舞台におけるカーリング競技での北海道出身選手の活躍は、北海道、中国・黒竜江省、カナダ・アルバータ州との姉妹友好提携におけるカーリング交流をきっかけに生まれたものです。気候や風土が似ている3地域ではスポーツなどで交流し合うことで合意し、以後、カーリング交流をはじめ、経済、文化、教育など幅広い分野で交流が積み重ねられてきました。2020年には北海道とアルバータ州の姉妹提携40周年、2021年には北海道と黒竜江省の友好提携35周年を迎え、他の地域も含めた今後の交流にも期待です。

[詳細](#)

コロナ禍における神奈川県とベトナムの交流事業について(神奈川県)



神奈川フェスティバルinハノイでのよさこい



「かながわ・ベトナム パネル展」を視察する
黒岩知事とナム大使

神奈川県では、平成25年に黒岩神奈川県知事が駐日ベトナム大使と会談を行ったこと等を契機としてベトナムとの交流が活発化しています。交流促進のため、横浜市内における「ベトナムフェスタin神奈川」や、ベトナムの首都・ハノイ市における「神奈川フェスティバルinハノイ」等も開催されています。コロナ禍においても、ベトナムとの相互理解を深め、これまで培ってきた絆を維持・発展させていくため、令和3年度は、これまでの交流やベトナムの景色・文化・食等を知ることができるパネル展示等を行う「かながわ・ベトナム パネル展」を開催しました。同年11月に、ファム・ミン・チン・ベトナム首相が就任後初めて来日した際には、黒岩知事もチン首相や、チン首相と一緒に来日されたグエン・チー・ズン計画投資大臣と会談を行っています。引き続きベトナムの皆さまとともに生活し、ビジネス等で互いに成功を収められるよう、神奈川県としても取り組んでいきます。

[詳細](#)

パンダが結ぶ友好都市(和歌山県と中国四川省の交流)



議定書の署名



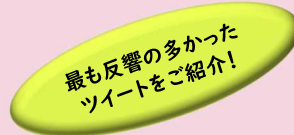
四川省のパンダ

2022年1月26日、和歌山県と四川省がオンラインで友好都市提携に係る議定書に署名しました!ジャイアントパンダをきっかけとして交流を深めてきた和歌山県と四川省は、コロナ禍においても積極的にオンラインを活用した交流を重ね、今般、こうした官民による交流が実を結び、両県省間の友好都市提携に係る議定書に署名するに至りました。議定書では、青少年、防災・減災、観光、教育等の交流分野が盛り込まれており、今後両県省が協議を重ね、具体的な交流を実施していく予定です。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束して、オンライン交流だけでなく直接の対面による相互交流が実現することを期待されます。

[詳細](#)

★地方連携推進室ツイート・ザ・ベスト★
(期間: 1/16~2/15)

Twitter / @LocalMofa



local partnership MOFA JAPAN @LocalMofa · 1月20日
 [#HostTown]@pref_kochi, a HostTown of #Tonga for @Tokyo2020, has started accepting donations to help the country affected by the disaster.
 @TongaEmbTokyo @japanintonga

高知県広報誌 @pref_kochi · 1月19日
 高知県は、1月15日のトンガ海底火山の大規模噴火で被災した同国を支援するため、義援金の受付を開始しました。義援金はトンガ政府にお届けし、災害の復旧等に当てられます。皆さまの温かいご支援をお願いします。

詳しくは、高知県会計管理課HP⇒pref.kochi.lg.jp/soshiki/180101...



12 likes, 51 retweets

海を越える‘高知家’の絆!
 今回は、海底火山の大規模噴火で被災したトンガを支援するための義援金を高知県が呼び掛けたことを紹介したツイートに最も注目が集まりました。

高知県とトンガは、2019年ラグビーワールドカップの事前合宿をきっかけに交流が深まり、その後の東京2020大会におけるホストタウン登録へと繋がりました。今回の高知県の迅速な支援の呼び掛けに見える支え合いの絆の醸成。‘高知家’のキャッチフレーズ「高知県は、ひとつの大家族やき。」はグローバルに響いています!

[詳細](#)